

教 育 目 標 : 『豊かな心を持ち 共に学び合う 元気でたくましい伊尾木っ子の育成 』
めざす子ども像 : (1)主体的・協働的に学ぶ子 (2)「思いやりの心」「感謝の心」「たくましい心」そして、健康な体を持つ子
(3)臆せず堂々と表現でき、コミュニケーション力を持つ子(元気にあいさつができる子)

伊尾木小学校



学校だより

なぎの木

令和5年度3月号 2月27日発行

☆ いよいよ本年度最後の月 ☆

早いもので、暦は弥生3月へと歩みを進め、いよいよ本年度の最後の月になりました。子どもたちは、学年のまとめに一生懸命取り組んでいます。風邪などでの欠席もほとんどなく、子どもたちは元気に登校しています。

30名の子どもたちは無事、各学年のゴールを迎えようとしています。6年生は3月21日(卒業式)、母校を巣立っていきます。残された日を悔いなく過ごしてほしいと願っています。

☆ 学習発表会 ☆

2月3日(土)4年ぶりに地域の方をお招きしての学習発表会を開催することができました。用意したパイプ椅子がすべて埋まるほどの盛況でした。たくさんの観衆に緊張しながらも、子どもたちもこの1年の学習の成果を堂々と披露することができ、貴重な経験をさせていただくことができました。ありがとうございました。



☆ ふれあいサロン ☆

2月22日(木)伊尾木公民館のふれあいサロンに、1・2年生が参加してきました。すごろく、おはじき、あやとり、竹とり、こま回しといった昔遊びを教えていただいた後、「校歌」、「大きなくりの木のしたで」、「しあわせなら手をたたこう」の3曲の歌と踊りをプレゼントしてきました。たくさんの地域の方とふれあい、みんなが笑顔で過ごす時間となりました。



☆ 高知県学力定着状況調査 ☆

12月7日(木)に高知県の小学4・5年生と中学1・2年生を対象とした高知県学力定着状況調査が実施され、その結果が公表されました。本校の調査結果は、全国平均正答率と比較して次のようになりました。

4年 国語;低い、算数;高い
5年 国語;やや高い、算数;やや高い、理科;高い

【表記の意味】

+5P<高い、+3P<やや高い≤+5P、-3P≤全国並み≤+3P、
-5P≤やや低い<-3P、-5P<低い

4年国語において全国平均正答率を下回りましたが、その他は、全国平均正答率を上回る結果となりました。個人票及び問題冊子・答案用紙は3月中に、安芸市版学力調査の個人票等と合わせて、授業の中で返却します。学校では不十分だったところをフォローしていきますが、家庭学習においても、それぞれの弱点克服にお役立ていただければと思います。ご家庭でもご確認のうえ、励ましの言葉をかけてあげてください。

☆ 学校評価アンケート

ご協力ありがとうございました ☆

1月に児童・保護者・地域の方を対象に学校評価アンケートを実施しました。ご協力いただき、ありがとうございました。アンケートの集計結果(概略)をお知らせします。

【評価基準】

- ・肯定的評価(「そう思う」、「だいたいそう思う」)が80%以上ならば、「概ね満足できる取組がなされている」と捉えました。
- ・肯定的評価が80%未満の項目は、学校の取組が不十分かもしれないと考え、取組を点検し改善策を考えるようにしました。

※児童用アンケートの分析

- (1)児童アンケート結果は、すべての項目が80%以上でした。
- (2)あえて、否定的な評価(あまり思わない、思わない)が他の項目より高い項目を見てみると、「⑩休み時間や家に帰ってから運動するように心がけている」16.7%でした。



「体力・運動習慣に関する取組」で工夫できることはないか検討していきます。

※保護者アンケートの分析

◎肯定的評価(そう思う・だいたいそう思う)が80.0%未満のうち、著しく低い項目は、「③お子さんは、目標やめあてを持って学校生活を送っていると思いますか」(62.1%)、「⑤お子さんは、悩みや困ったことについて、先生に相談していると思いますか」(44.8%)、「⑥あなたは、お子さんについての悩みや困ったことについて、教職員(学校)に相談していますか」(65.5%)でした。



「目標やめあてを持たせること」、「相談体制の充実」、に関する取組が弱いかもしれないことが推察できます。特に、児童や保護者が相談しやすい学校づくりに力を入れていきたいと思っています。

また、学校に力を入れて取り組んでほしいことについては、児童では、「③子どもが中心となって計画できる学校の行事を増やしてほしい」、「⑤いじめや暴力をなくすようにしてほしい」、「⑧怪しい人が入って来たときや地震のときの安全に力を入れてほしい」がともに15.7%で一番割合が高くなっています。

保護者では、「⑤社会のルールやきまりを守るようにする指導に力を入れる」(19.0%)、「①分かりやすい授業をする」(15.5%)、「⑨不審者対策や地震・津波などの防災対策に力を入れる」(15.5)の順に割合が高くなっています。

学校としては、これら結果を踏まえて、肯定的回答(「そう思う」、「ややそう思う」)が80%未満の項目は、学校の取組が不十分かもしれないと考えて点検し、次年度の教育活動の改善を図るようにしていきます。

☆ JA 共済交通安全ポスターコンクール ☆

《銀賞》 有澤 ■■

裏面に、3月と令和6年度4月の行事予定を載せています。ご覧ください。